

医歯学系専攻

顎顔面外科学

Maxillofacial Surgery

教 授 依田 哲也
 講 師 森田 圭一、(～9月) 山口 聡
 助 教 儀武 啓幸、中久木 康一、(～6月) 道 泰之、(4月～) 高原 楠旻、友松 伸允
 特任助教 長岡 亮介
 医 員 小杉真智子
 (～3月) 佐久間 朋美、炭野 淳、三浦 千佳、金丸 智紀、柴田 真里、丸岩 真由子、
 本多 奈津子、杉山 健太郎
 (4月～) 赤津 千絵、倉沢 泰浩、土田 絵梨、山田 峻之、星 礼子、西原 駿、外内 えり奈、
 野里女 明代、和智 宏太郎

大学院 曾根 絵梨、押部 成美、中里 桂一郎、加藤 寛史、山田 隆彦、
 金 裕純、兵頭 克弥、山本 大介、柴田 恵里
 (4月～) 益田 洋輝

大学院研究生 小室 千鶴子、菊地 孝弘、高坂 晋哉、六島 聡一

名誉教授 天笠 光雄

臨床教授 山崎 安晴、山城 正司

非常勤講師 藤井 英治、長谷川 和樹、山崎 安晴、石井 純一、和気 裕之、山城 正司、山田 隆文、佐藤 仁、
 宮地 英雄、小林 明子、佐藤 文明、新中 康史、鈴木 鉄夫、山根 正之、渡部 隆夫、佐藤 豊、
 三島木 節、黒原 一人、愛甲 勝哉、大山 巖雄、阿部 成宏、園田 格、道川 千絵子

(1) 研究活動

当分野では多岐にわたる顎顔面口腔領域の疾患に対し、以下のテーマを中心に研究を行っている。

1) 顎変形症：術後の安定性と手術術式の改良を目的とした研究を行っている。特に、口内法における術式の改良、術後の下顎頭の安定性、後戻り、下顎運動、皮膚感覚、安全な上顎骨後方挙上等について検討している。三次元超音波振動切削機（ピエゾサーージェリー、ソノベット）を導入し、神経血管・骨膜損傷を抑える骨切り等を行っている。また骨接合の際に用いる吸収性プレートの力学的強度の研究を企業との産学連携研究として行っている。口唇口蓋裂患者の重度の上顎發育不全に対して創内延長装置である Zurich maxillary distractor や RED system を用いた上顎全体の骨延長の適応や術後の安定性に関して検討している。自己血貯血の実態調査、外科手術前後の栄養調査、意識調査・口腔衛生に対する評価を行い、実際の臨床に反映させている。下顎枝矢状分割術における下顎頭位置決め方法についても改良を進めている。

また、クリニカルパスを導入して安全、確実な入院加療、術後入院期間の短縮を実現して患者に優しい医療を目指している。また、シミュレーションソフトを用いた骨干渉の確認、顎骨の移動様式の検討、さらには CAD/CAM splint を用いた上顎位置決めバイトの作成も積極的に行っている。

2) 口腔悪性腫瘍：超音波、CT、MRI、PET 等の画像を用いた診断や腫瘍進展範囲の検索の精度を向上させるための研究を引き続き行っている。超音波診断においては、カラードプラ超音波診断器を導入し、病変の血流の有無、方向、流速、性状など、腫瘍の質的診断の研究を行っている。口腔癌の組織型、発生部位別の治療成績の検討から、予後不良因子を抽出し、常に治癒率の向上を目指している。また、重複癌に関する臨床的研究、若年者・高齢者における口腔癌患者の動向に関する臨床的研究、遠隔転移様相に関する臨床的研究、口腔癌切除後の創被覆法、切除法の工夫に関する研究を行っている。さらに、術後治療の標準化、新規抗がん剤治療による治療成績についての研究を行い、治療成績の向上に寄与する研究を行っている。口腔再建手術後の咀嚼、嚥下、構音などの口腔機能の評価法に関する研究も進めており、術後 QOL を向上させる再建法について検討を行っている。術後の摂食・嚥下障害が予想される患者に対しては、摂食リハビリ外来や病棟スタッフとの連携のもとで、術前より摂食・嚥下機能評価を行っている。特に腫瘍切除後に組織移植により再建術を行う患者に対しては、クリニカルパスを作成し、早期のリハビリ開始や、術後入院期間の縮小がはかられている。また、言語機能評価は言語治療外来にて

行っているが、切除範囲や術式ごとの検討を行うことにより、機能温存を重視した術式の開発に取り組んでいる。

3) 口唇口蓋裂：口唇口蓋裂患者の初回手術前より口蓋床を用い、術前顎発育誘導による歯列弓形態の経時的な変化について解析を行っている。口唇形成や口唇修正においては、積極的に人中形成を含めた自然な三次元的形態回復を行っている。顔面の形態評価については2次元解析を行っている。口蓋形成では、言語機能や顎発育の両面を考慮したよりよい術式を選択し、成長期における咬合状態と言語機能について評価を行い、咬合や言語に与える因子の解析を行っている。顎裂部への二次的骨移植については、単純X線写真やCTを用い骨形態や歯列弓形態についての評価を行っている。また、鼻咽腔閉鎖機能不全に対してまずは発音補助装置を用い改善を図り、必要に応じて咽頭弁移植術を行い、鼻咽腔閉鎖機能の獲得を行っている。重度の上顎劣成長に対しては、骨延長を適応し咬合改善を行い、術後の後もどりや長期術後安定性について検討を行っている。治療終了期の患者の総合評価を行い、治療プロトコルの問題点や改善点について検討している。研究面では、研究書承諾書を頂いた患者さんから手術中に生じた患者さんの血液、組織を用いて口唇・口蓋裂の発生に関わる遺伝子解析を本学分子発生学分野と共同研究を行っている。

4) 顎関節疾患：口腔疾患と心因的な関連について、顎関節症患者を含む当科外来患者を対象として必要に応じて心理要因の調査を実施し、疼痛と不安・抑うつとの関連性を解析し、治療法を検討している。また顎関節に発生する腫瘍性病変についての外科治療を行うとともに発症原因や病態解明についての検索を行っている。従来からある開口訓練器の改良を行うと共に新しい型式の開口訓練器と開口度測定器の新規開発、それらの実用化と臨床応用に向けての研究開発を進めている。

5) 口腔再建：舌、口底、頬粘膜などの軟組織再建は、主に、前腕皮弁や腹直筋皮弁などの遊離皮弁移植を用いて行っている。顎骨などの硬組織再建は、遊離肩甲骨複合皮弁などの血管柄付き骨移植、骨髄海綿骨細片(PCBM)などによる再建を行っている。顎義歯、インプラント義歯など用いた咬合再建を最終目標とする取り組みと、咀嚼機能、QOL評価を通じて、より安全で機能的な口腔再建法の確立と機能評価・術式の標準化へ向けた研究を行っている。

6) 口腔粘膜疾患：白板症、扁平苔癬などの口腔粘膜疾患に対する治療のために専門外来を設置している。また粘膜疾患の病態に対する原因の調査を、全身疾患、局所、心因性のものにわたって行い、治療には一部東洋医学も導入している。

7) 歯および骨の再生に関する研究：歯髄細胞を細胞供給元とした再生医療の研究を進めている。これまでにヒト歯髄細胞は無血清培地にて培養した場合には象牙質を形成することが見いだされた。歯の再生には上皮系細胞と間葉系細胞が必要と思われる。上皮系細胞としてヒト口腔粘膜上皮細胞、間葉系細胞としてヒト歯髄細胞に着目し歯の再生研究を行っている。最近になり手術時に生じる余剰骨組織よりヒト骨髄間葉系幹細胞の培養にも成功しており、再生医療への応用研究を展開していきたいと考えている。

8) 口腔癌に対する基礎的研究：口腔癌検体より、レーザーマイクロダイセクションを用いて、それぞれの検体から正常部、上皮性異形成部、癌部を採取し、マイクロアレイ解析を行うことにより口腔癌の発癌過程におけるmRNAレベルの発現の変化をデータベース化した。そのデータベースより、正常から上皮性異形成、上皮性異形成から浸潤癌への変化に伴い有意に発現が変化する遺伝子を同定した。

(2) 教育方針

口腔外科学においては口腔、顎、顔面領域に現れる先天性および後天性疾患について、その病因、病理、症状、診断、処置ならびに予後を理解させ、かつ、各種疾患の予防および治療に応用させるように教育する。口腔外科学で取り扱う範囲は非常に広く歯科と医科との重なり合った領域を扱うため、内科学、外科学ならびに隣接臨床医学とは密接な関係を有している。口腔外科学は一般に、歯およびその周囲組織を中心とした疾患を対象とする歯科口腔外科学と、顎口腔顔面領域にわたる疾患を対象とする顎口腔外科学に区分することができ、顎顔面外科学分野は顎口腔外科学分野と分担して教育する。

1-1 第5学年前期において、次の内容について講義を行う。

顎口腔医療（内容については顎口腔外科学分野と分担して行う）

- 1) 顎口腔顔面領域の奇形，特に唇顎口蓋裂
- 2) 顎口腔顔面領域の変形症
- 3) 顎口腔顔面領域の損傷
- 4) 顎口腔顔面領域の炎症・感染症
- 5) 顎口腔顔面領域の嚢胞
- 6) 口腔粘膜疾患
- 7) 顎口腔顔面領域の良性，悪性腫瘍
- 8) 顎関節疾患
- 9) 唾液腺疾患
- 10) 系統的骨疾患
- 11) その他

以上の疾患の成因、症状、診断、処置および予後について講義を行う。

1-2 第5学年前期に次の内容について実習を行う。

1) 臨床検査とその評価

- (1) 一般簡易検査（血液型、赤血球数、白血球数、血色素量、血球容積、血球沈降速度、血液像、尿検査）
- (2) 血液検査手技（静脈採血、動脈採血）
- (3) 血清生化学検査、尿生化学検査（付、薬剤アレルギー検査、皮内反応）
- (4) 顎部の診察

2) 滅菌および消毒法

手指の消毒，手術野の消毒，器械・器具の消毒など

3) 抜歯の基本手技

抜歯鉗子・挺子の使い方

4) 顎間固定法

連続歯牙結紮など

1-3 第6学年臨床実習

外来実習では抜歯およびその他外来小手術の基本手技、投薬など、病棟実習では入院患者に対する手術を理解し、術前・術後管理の基本などを修得する。

1-4 歯学部第6学年の特別講義を行っている。

1-5 医学部医学科第3学年および歯学部歯学科第3学年の顎顔面臨床ブロックの講義を担当している。

1-6 医学部医学科第4学年、口腔外科の講義、医学部医学科第5学年、口腔外科実習を担当している。

1-7 医学部保健衛生看護学科の講義を担当している。

1-8 医歯学総合研究科医歯科学専攻修士課程の講義を担当している。

(3) 臨床上の特色

臨床上の特色:近年の口腔外科疾患に対する治療法の進歩により最新かつ専門化した集学的治療体系が必要とされてきている。これに対応して当科では顎変形症、口腔悪性腫瘍、唇顎口蓋裂、顎関節、口腔粘膜疾患に対して専門外来を設け個々の患者へのきめ細かい対応ができる態勢を整えている。同時に集学的治療の実践のため、顎変形症や唇顎口蓋裂では症例検討会を矯正歯科外来と合同で行っており、口腔外科医と矯正歯科医が十分な検討を行った上で治療計画を立てている。また、悪性腫瘍に限らず病態が複雑な疾患や稀少な疾患を対象に口腔病理科、歯科放射線科と合同で臨床病理カンファレンス（CPC）を行い、症例について総合的に検討することにより、診断、治療に関わる知識を深め臨床に役立てている。

(4) 研究業績

[原著]

1. 中久木康一，瀧田慎也，牛島 隆，小玉 剛，村岡宜明，柳川忠廣，佐藤 保，槻木恵一. 熊本地震における歯科支援活動の検討 —アセスメント票・日報の分析と支援経験者に対するアンケート結果より— 日本歯科医療管理学会雑誌. 2018; 53(2); 106-112
2. Tomoki Kanemaru, Yoshio Ohyama, Kazuhiro Aoki, Atsushi Tamura, Nobuhiko Yui, Satoshi Yamaguchi, Yoshiyuki Mochida. Modulation of Matrix Mineralization by von Willebrand Factor C Domain Containing 2 in Vivo and in Vitro J Oral Tissue Engin . 2018; 15(3); 131-142
3. Yoshitake H. Development of the new instrument for measurement of mouth opening and mandibular movement. Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine and Pathology.. 2018; 30; 488-491
4. Yoshitake H. Development and clinical application of a new mouth-opening exercise device that induces a protrusive sliding movement of the mandibular condyle and increases the hinge mobility of the temporomandibular joint Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine and Pathology.. 2018; 31; 131-134
5. Takasuke Inada, Atsushi Tamura, Masahiko Terauchi, Satoshi Yamaguchi, Nobuhiko Yui. A silencing-mediated enhancement of osteogenic differentiation by supramolecular ternary siRNA polyplexes comprising biocleavable cationic polyrotaxanes and anionic fusogenic peptides. Biomaterials Science. 2018.02; 6(2); 440-450

6. Ohata Y, Tsuchiya M, Hirai H, Yamaguchi S, Akashi T, Sakamoto K, Yamaguchi A, Ikeda T, Kayamori K. Leukemia inhibitory factor produced by fibroblasts within tumor stroma participates in invasion of oral squamous cell carcinoma. *PLoS ONE*. 2018.02; 13(2); e0191865
7. Hayashi N, Sato T, Fukushima Y, Takano A, Sakamoto I, Yoda T. A two-year follow-up of surgical and non-surgical treatments in patients with masticatory muscle tendon-aponeurosis hyperplasia *International Journal of Oral and Maxillofacial Surgery*. 2018.02; 47(2); 199-204
8. 横溝一郎, 星 作男, 高坂晋哉, 大川原亨, 中久木康一. 【はじめよう!保険のできる OSAS 患者の OA 治療 医科・歯科の連携による治療の流れから技工操作、難症例の対応まで】 *The Quintessence*. 2018.02; 37(2); 0322-0342
9. Kanai Y, Nishihara H, Miyagi Y, Tsuruyama T, Taguchi K, Katoh H, Takeuchi T, Gotoh M, Kuramoto J, Arai E, Ojima H, Shibuya A, Yoshida T, Akahane T, Kasajima R, Morita K, Inazawa J, Sasaki T, Fukayama M, Oda Y. The Japanese Society of Pathology Guidelines on the handling of pathological tissue samples for genomic research: Standard operating procedures based on empirical analyses *Pathology International*. 2018.02; 68(2); 63-90
10. Shibata M, Yoshitake H, Terauchi M, Akane Yukimori A, Yamaguchi S. Submandibular triangle cavernous hemangioma: Case report and review of literature *Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine and Pathology*. 2018.03; 30; 353-358
11. Tonouchi E, Gen Y, Muramatsu T, Hiramoto H, Tanimoto K, Inoue J, Inazawa J. miR-3140 suppresses tumor cell growth by targeting BRD4 via its coding sequence and downregulates the BRD4-NUT fusion oncoprotein. *Scientific reports*. 2018.03; 8(1); 4482
12. 中久木康一, 田上大輔, 片山公則, 新生育子, 三森康弘, 田村尚子, 隈井隆弘, 我那覇生純, 越川由紀, 槻木恵一. 災害時の介護施設への歯科保健介入のあり方に関する調査報告 *日本災害食学会誌*. 2018.03; 5(2); 15-19
13. 友松伸允, 道 泰之, 水谷美保, 森田琢磨, 小杉真智子, 山口 聡. 舌癌術後の化学放射線療法中に偽膜性大腸炎と多発膿瘍を発症した 1 例 *日本口腔科学会雑誌*. 2018.03; 67(3); 228-234
14. 木村浩子, 木野孔司, 戸邊昌子, 西山 暁, 和気裕之, 儀武啓幸, 嶋田昌彦. 乾癬性関節炎に起因した顎関節強直症に対する顎関節授動術後の長期経過観察 *日本顎関節学会雑誌*. 2018.04; 30(1); 59-64
15. Sano Y, Kogashiwa Y, Araki R, Enoki Y, Ikeda T, Yoda T, Nakahira M, Sugawara M. Correlation of Inflammatory Markers, Survival, and COX2 Expression in Oral Cancer and Implications for Prognosis *Otolaryngology-Head and Neck surgery*. 2018.04; 158(4); 667-676
16. Hayashi N, Sato T, Kokabu S, Usui M, Yumoto M, Ikami E, Sakamoto Y, Nifuji A, Hayata T, Noda M, Yoda T. Possible association of oestrogen and Cryba4 with masticatory muscle tendon-aponeurosis hyperplasia. *Oral diseases*. 2018.04;
17. 中久木康一. 災害支援とリハビリテーション栄養 誤嚥性肺炎とオーラルフレイルの予防 リハビリテーション栄養. 2018.04; 2(1); 99-101
18. 原園陽介, 長谷川和樹, 濱田啓一, 野里女明代, 宮本日出雄. 関節突起骨折に対する TMAP アプローチを用いた観血的整復術 *日本口腔外科学会雑誌*. 2018.04; 64(4); 200-206
19. Masahiko Terauchi, Atsushi Tamura, Satoshi Yamaguchi, Nobuhiko Yui. Enhanced cellular uptake and osteogenic differentiation efficiency of melatonin by inclusion complexation with 2-hydroxypropyl - cyclodextrin. *International Journal of Pharmaceutics*. 2018.05; 547(1-2); 53-60
20. 中久木康一, 田上大輔, 片山公則, 新生育子, 三森康弘, 田村尚子, 隈井隆弘, 我那覇生純, 越川由紀, 槻木恵一. 災害時の介護施設への歯科保健介入のあり方に関する調査報告 *日本災害食学会誌*. 2018.05; 5(2); 15-19
21. Usami-Fujita R, Nakakuki K, Fujita K, Kosugi M, Yonemitsu I, Fukuyama E, Ono T. Collaborative treatment for a case of condylar hyperplastic facial asymmetry. *The Angle orthodontist*. 2018.07; 88(4); 503-517
22. Okuyama K, Yamashiro M, Kaida A, Kawamata A, Mizutani M, Michi Y, Uzawa N, Yano T, Tohyama R, Yamaguchi S. Does a Vascularized Fibula Free Bone Grafted Immediately After Hemimandibulectomy in a Child Grow or Relapse During Adolescence? *The Journal of craniofacial surgery*. 2018.07; 29(5);

23. Michikawa C, Izumo T, Sumino J, Morita T, Ohyama Y, Michi Y, Uzawa N. Small size of metastatic lymph nodes with extracapsular spread greatly impacts treatment outcomes in oral squamous cell carcinoma patients *International Journal of Oral and Maxillofacial Surgery*. 2018.07; 47(7); 830-835
24. 阿部成宏, 山口聰, 依田哲也. ヒト口腔粘膜由来の sphere 形成細胞は、神経堤由来細胞を多く含む 再生医療 日本再生医療学会雑誌. 2018.08; 17(3); 333-338
25. 林 直樹, 依田哲也, 塘田健人, 湯本愛実, 北村友久, 大久保正彦, 岩崎良恵, 榎木祐一郎, 佐藤 毅. 若年者における咀嚼筋腱・腱膜過形成症疑い者に関する縦断的疫学調査 日本顎関節学会雑誌. 2018.08; 30(2); 187-194
26. 原口公子, 重富照子, 久保山裕子, 川端貴美子, 太田秀人, 熊澤榮三, 森田浩光, 山添淳一, 久保田潤平, 中久木康一. 九州地区における災害時歯科保健医療支援研修の取り組み 日本歯科衛生学会雑誌. 2018.08; 13(1); 151
27. 三澤 洋子, 安部 美智野, 小前 みどり, 得津 康子, 水内 志緒, 吉原 佐智子, 久保山 裕子, 中久木 康一. 日本歯科衛生士会の災害支援体制整備と方向性 日本歯科衛生学会雑誌. 2018.08; 13(1); 150
28. 中久木 康一, 木村 裕, 山田 紫萌, 海津 早苗, 鋤持 郁, 尾形 藍, 佐藤 芳絵, 田守 未来, 菅原 愉子, 佐藤 由理, 女川歯科保健チーム. 東日本大震災被災後の女川町における歯科保健対策の推進 日本歯科衛生学会雑誌. 2018.08; 13(1); 152
29. 中久木 康一, 小山 珠美, 前田 圭介, 笠岡 宣代 [坪山], 植田 耕一郎. 災害時の食べる支援における多職種連携のための共通アセスメント方法の提案 日本災害食学会誌. 2018.08; 6(1); 45
30. 中久木康一, 淵田慎也, 牛島 隆, 小玉 剛, 村岡宜明, 柳川忠廣, 佐藤 保, 槻木恵一. 熊本地震における歯科支援活動の検討 アセスメント票・日報の分析と支援経験者に対するアンケート結果より 日本歯科医療管理学会雑誌. 2018.08; 53(2); 96-102
31. 稲葉好則, 大山巖雄, 友松伸允, 道 泰之, 山口 聰. 口腔外科手術後栄養管理における新規濃厚流動食(ハイネイゲル)の有用性 日本口腔外科学会雑誌. 2018.08; 64(8); 464-469
32. Sato T, Okubo M, Hayashi N, Yumoto M, Fukushima Y, Yoda T. Osteonecrosis of the jaw with pancytopenia in a patient receiving methotrexate for rheumatoid arthritis without antiresorptive or antiangiogenic agents: Report of a case *Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology*. 2018.09; 30(5); 418-421
33. 森田 圭一, 金井 雅史, 松本 繁巳. 研究試料付随臨床情報管理システム *BIO Clinica*. 2018.09; 33(10); 956-961
34. 友松伸允, 道 泰之, 水谷美保, 森田琢磨, 小杉真智子, 山口 聰. 舌癌術後の化学放射線療法中に偽膜性大腸炎と多発膿瘍を発症した1例 日本口腔科学会雑誌. 2018.09; 67(3); 228-234
35. Kurohara K, Michi Y, Yukimori A, Yamaguchi S. The glomus tumor resorbed bone and teeth in the mandible: a case report *Head and Face Medicine*. 2018.09; 14(18);
36. Kim Y, Hayashi M, Ono T, Yoda T, Takayanagi H, Nakashima T. Suppression of hematopoietic cell kinase ameliorates the bone destruction associated with inflammation. *Modern rheumatology*. 2018.11; 1-17
37. Sawangarun Wanlada, Mandasari Masita, Aida Junko, Morita Kei-ichi, Kayamori Kou, Ikeda Tohru, Sakamoto Kei. Loss of Notch1 predisposes oro-esophageal epithelium to tumorigenesis *EXPERIMENTAL CELL RESEARCH*. 2018.11; 372(2); 129-140
38. 友松伸允, 黒原一人, 中久木康一, 小杉真智子, 倉沢朋美, 依田哲也. アンケート調査による顎矯正手術の問題点の検討 口腔病学会雑誌. 2018.11; 85(3); 83-93
39. Tomomatsu N, Kurohara K, Nakakuki K, Yoshitake H, Kanemaru T, Yamaguchi S, Yoda T. Influence of the anatomical form of the posterior maxilla on the reliability of superior maxillary repositioning by Le Fort I osteotomy. *International Journal of Oral and Maxillofacial Surgery*. 2018.11;
40. Kitamura T, Sato T, Ikami E, Fukushima Y, Yoda T. A case of a patient who is diagnosed with mild acquired hemophilia A after tooth extraction died of acute subdural hematoma due to head injury *Case Rep Dent*. 2018.12;
41. Kurohara K, Tomomatsu N, Nakakuki K, Sakuma T, Arai N, Yoda T. Treatment of refractory non-union after maxillary osteotomy: A case report. *Journal of stomatology, oral and maxillofacial surgery*. 2018.12;
42. Hoshi R, Tetsumura A, Yamaguchi S. Preoperative imaging findings as predictors of postoperative inferior alveolar nerve injury following mandibular cyst surgery. *Journal of Oral Science*. 2018.12; 60(4); 618-625

[書籍等出版物]

1. 中久木康一. 誤嚥性肺炎とオーラルフレイルの予防, 災害支援とリハビリテーション栄養 . 医歯薬出版, 2018
2. 木野孔司, 佐藤文明, 澤田真人, 渋谷寿久, 澁谷智明, 西山暁, 羽毛田匡, 儀武啓幸. 顎関節症のリハビリトレーニング よく動く関節は痛くない 韓国語版. 2018
3. 久保山裕子, 中久木康一. 災害支援って何だろう? ~食べるを支えるために~, 災害支援の基本を知ろう. 医歯薬出版, 2018.01
4. 久保山裕子, 中久木康一. 災害支援って何だろう? ~食べるを支えるために~, 「要配慮者」「福祉避難所」とは?. 医歯薬出版, 2018.02
5. 槻木恵一, 中久木康一. 災害歯科医学. 医歯薬出版, 2018.02
6. 横溝一郎, 星 作男, 高坂晋哉, 大川原亨, 中久木康一. 特集2 はじめよう!保険のできる OSAS 患者の OA 治療 医科・歯科の連携による治療の流れから技工操作、難症例の対応まで. クインテッセンス出版, 2018.02
7. 久保山裕子, 中久木康一. 災害支援って何だろう? ~食べるを支えるために~, 災害支援で大切な多職種連携. 医歯薬出版, 2018.03
8. 儀武啓幸. 新型開口訓練器「ヤセック開口訓練器」の臨床応用. デンタルマガジン, 2018.03
9. 宮岡等, 和気裕之監修・著, 宮地英雄, 依田哲也 編集・著. こころの病気と歯科治療. 2018.04
10. 久保山裕子, 中久木康一. 災害支援って何だろう? ~食べるを支えるために~, いま、できること... 「BCP」を考えよう. 医歯薬出版, 2018.04
11. 中久木康一, 栗栖諒子. 舌痛・口腔灼熱感, こころの病気と歯科治療. 2018.04
12. 中久木康一. 「口腔ケアから肺炎を防ぐ」, 別冊地域保健「避難所づくりに活かす 18 の視点」. 東京法規出版, 2018.05
13. 儀武啓幸. 顎関節症治療における開口訓練器の意義. 歯界展望, 2018.05
14. 中久木康一. 歯科の災害保健医療支援. nico, 2018.08
15. 中久木康一, (編著: 季節子). 歯科保健・歯科医療対策. 杏林書院, 2018.09
16. 中久木康一. 口腔外科における低侵襲手術(ミニマム・インターベンション)の試み, 文献と臨床の橋わたし. 日本歯科評論, 2018.10
17. 中久木康一. 文献と臨床の橋わたし 口腔外科における低侵襲手術の試み. 日本歯科評論, 2018.10
18. 中久木康一. 災害時の歯科保健から, 「食べる」を支える連携へ, 文献と臨床の橋わたし. 日本歯科評論, 2018.11
19. 中久木康一. さまざまな格差と、健康格差, 文献と臨床の橋わたし. 日本歯科評論, 2018.12

[総説]

1. 久保山裕子, 中久木康一. 「災害支援」って何だろう? 食べるを支えるために 災害支援の基本を知ろう デンタルハイジーン. 2018.01; 38(1); 94-97
2. 久保山裕子, 中久木康一. 「災害支援」って何だろう? 食べるを支えるために 「要配慮者」「福祉避難所」とは? デンタルハイジーン. 2018.02; 38(2); 218-221
3. 久保山裕子, 中久木康一. 「災害支援」って何だろう? 食べるを支えるために 災害支援で大切な多職種連携 デンタルハイジーン. 2018.03; 38(3); 328-331
4. 久保山裕子, 中久木康一. 「災害支援」って何だろう! 食べるを支えるために(最終回) いま、できること..... 「BCP」を考えよう デンタルハイジーン. 2018.04; 38(4); 452-455
5. Kato T, Morita H, Tsuzuki T, Yamaguchi M, Ohta H, Tanoue D, Nakakuki K. Emerging role of dental professionals in collaboration with medical personnel in disaster relief following the 2016 Kumamoto earthquakes: implications for the expanding scope of dental practice. International dental journal. 2018.06;

6. 儀武啓幸. 顎関節疾患に対する外科的アプローチ 耳鼻咽喉科・頭頸部外科. 2018.08; 90(9); 705-772
7. 佐藤 毅 依田哲也. 咀嚼筋腱変異性による機能障害—咀嚼筋腱・腱膜過形成症 口腔疾患と慢性炎症. 2018.10; 7(3); 70-73
8. 和気裕之、宮岡 等、依田哲也、宮地英雄、島田 淳. こころの病気と歯科治療 DENTAL DIAMOND . 2018.10; 43(13); 45-57

[講演・口頭発表等]

1. 新垣理宣, 道 泰之, 山口 聰. 当院における頭頸部放射線治療用スパーサーの試み. 第 36 回口腔腫瘍学会総会・学術大会 2018.01
2. 新垣理宣, 中村 伸, 道泰之, 山口聰, 倉林亨. 著明な下顎骨破壊を呈した多発性骨髄腫の画像所見. 第 226 回日本歯科放射線学会関東地方会 2018.01
3. 中久木康一. 声なき民の命を救え ～災害を免れた後の、語られない悲劇～. 榛原歯科医師会 災害研修会 2018.01
4. 中久木康一. 災害時歯科保健医療における口腔アセスメント. 全国 7 地区日本歯科医師会平成 29 年度災害コーディネーター研修会（九州ブロック） 2018.01
5. 中里桂一郎, 鶴澤成一, 栢森 高, 土谷麻衣子, 渡邊 裕, 炭野 淳, 道 泰之, 山口 聰. 舌癌の発生・進展過程における代謝調節機構の変化について. 第 36 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会 2018.01.25 新潟
6. 杉山健太郎, 道 泰之, 山口 聰. 当科における粘表皮癌の臨床的検討. 第 36 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会 2018.01.25 新潟
7. 新垣理宣, 道 泰之, 山口 聰. 当院における頭頸部放射線治療用スパーサーの試み. 第 36 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会 2018.01.25 新潟
8. 中里桂一郎, 鶴澤成一, 栢森 高, 土谷麻衣子, 渡邊 裕, 炭野 淳, 道 泰之, 山口 聰. 舌癌の発生・進展過程における代謝調整機構の変化について. 第 36 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会 2018.01.25 新潟
9. 新垣理宣. がん治療における口腔管理の重要性. 東京がん化学療法研究会月例会、招待講演 2018.02
10. 中久木康一. 災害と災害支援, 歯科保健事業従事歯科衛生士研修会(県委託). 茨城県歯科衛生士会 2018.02
11. 中久木康一. 災害時の歯科保健医療 歯科衛生士に求められるコーディネーター力 ～東京都災害時歯科医療救護ガイドラインの活用～. 平成 29 年度南多摩保健医療圏地域保健・医療・福祉推進研修 2018.02
12. 中久木康一. 災害時の歯科保健医療活動の目的と実際 ～地域での災害時体制の準備に向けて～. 平成 29 年度 災害時歯科口腔保健対応策研修会 2018.02
13. 中久木康一. 災害時の歯科保健医療 ～対策本部における調整～. 災害時歯科医療支援研修会「災害時歯科保健医療支援の現場を体験する」実習 2018.02
14. 中久木康一. 災害歯科保健医療連絡協議会の目的と方向性. 第 23 回日本集団災害医学学術集会 2018.02.01
15. 中久木康一. 災害時の地域保健支援のあり方と目的 ～多職種での食べる支援を通じた栄養確保～. 日本災害医療薬剤師学会 2018.02.12
16. 阪神淡路・中越・東北・熊本より「知っていたら！ 備えがあったら！ 助かった命」～災害関連死（誤嚥性肺炎）を防ぐために～. 豊川市地域啓発活動（歯科）健口講座 2018.02.15
17. 中久木康一. 多職種連携で対応する今後の備え, ～力をあわせて将来の災害に備えよう～「災害関連疾病（誤嚥性肺炎）を防ぐために！」. 平成 29 年度 地域歯科保健研修会 2018.03
18. 中久木康一. 災害歯科保健医療アップデート ～多職種連携と人材育成～. 宮城県歯科医師会 平成 29 年度大規模災害対策本部医療救護研修会 2018.03
19. 中久木康一. 災害時の歯科保健医療活動について 被災地での歯科保健医療活動の実態と見えてくる課題, 神奈川県厚木保健福祉事務所（県央地区）. 災害時歯科保健対応策事業研修会 2018.03
20. 中久木康一. 口腔ケアで避難所生活の健口そして健康を！. 平成 29 年度 地域防災セミナー 2018.03

21. 外内 えり奈, 森田 圭一, 道 泰之, 山口 聰. 口腔がんにおける cell-free DNA の検討. 口腔病学会雑誌 2018.03.01
22. Ogasawara T, Uezono M, Takakuda K, Kikuchi M, Suzuki S, Moriyama K. Shape optimization of subperiosteal devices using finite element analysis. The 11th Asian Pacific Orthodontic Conference(APOC 2018) Residents ' Forum 2018.03.04 Boracay, Phillipines
23. 磯崎祐太, 佐藤 毅, 塘田健人, 伊神英治古株彰一郎, 依田哲也. 骨細胞と Schwann 細胞の相互作用の解析. 第 73 回日本口腔科学会 2018.05.12 名古屋
24. 馬場優里, 小川卓也, 上園将慶, 壬生美智子, 隅田由香, 三島木節, 佐藤豊, 森田圭一, 森山啓司. 片側性口唇口蓋裂 2 例における上顎骨延長前後の上咽頭形態の三次元的変化と言語機能に関する検討. 第 42 回日本口蓋裂学会総会・学術集会 2018.05.24 大阪府大阪市
25. 鳥飼 勝行, 開田 恵理子, 木島 毅, 長岡 亮介, 島崎 一夫, 瀬崎 晃一郎. Furlow-Tr 変法から演者法 (口蓋裂 Tr 法 (仮称)). 第 42 回日本口蓋裂学会総会 2018.05.24 大阪
26. 鳥飼 勝行, 開田 恵理子, 木島 毅, 長岡 亮介, 島崎 一夫. 両側唇顎口蓋裂の対する一期手術の長期結果. 第 42 回日本口蓋裂学会総会 2018.05.24 大阪
27. 木島 毅, 鳥飼 勝之, 開田 恵理子, 長岡 亮介, 島崎 一夫. 唇顎口蓋裂を伴うダウン症の対する一期手術について. 第 42 回日本口蓋裂学会総会 2018.05.24 大阪
28. 鳥飼 勝行, 開田 恵理子, 木島 毅, 長岡 亮介, 島崎 一夫. 顎裂閉鎖法からみた唇顎口蓋裂治療の再考察. 第 42 回日本口蓋裂学会総会 2018.05.24 大阪
29. 香月 祐子, 三島木 節, 長岡 亮介, 森田 圭一, 佐藤 豊, 山口 聰. 片側完全唇顎口蓋裂患児における術前顎発育誘導の効果に関する検討. 第 42 回 日本口蓋裂学会総会・学術集会 2018 年 5 月 24-25 日 2018.05.24 大阪市
30. 有坂慶紀, 兵頭克弥, 山口 聰, 由井伸彦. 硫酸化ポリロタキサン基材を用いた血管内皮細胞増殖因子の表面導入. 第 67 回高分子学会年次大会 2018.05.25
31. 南雲拓海 福島洋介 金澤義弘 磯崎祐太 遠藤真央 塘田健人 北村智久 川田由美子 佐藤毅 依田哲也. 頬粘膜にみられた静脈性血管瘤の 1 例. 第 205 回日口外学会関東地方会 2018.05.26
32. 横溝一郎, 中久木康一, 吉川博康. 重度認知症の高齢患者に院内外で医療連携を行った結果手術が成功し経過も確認できた 1 例. 第 29 回日本老年歯科医学会学術集会 2018.06
33. 横溝一郎, 塚本 真. 歯科診療における感染症 あえて一般的な開業歯科医の目線からみた現状. 第 1 回 感染症地域セミナー 関東地域 病院・施設 感染症対策研究会 2018.06
34. 新垣理宣. がん治療において歯科としてどのように関わるか. 太田デンタルリサーチ 2018.06
35. 中久木康一. 災害時の「食べるを支える」多職種連携について. 平成 30 年度石巻管内栄養士研修会 2018.06
36. 友松伸允, 黒原一人, 中久木康一, 佐久間朋美, 小杉真智子, 金丸智紀. 顎矯正手術患者における手術後アンケート調査. 第 28 回日本顎変形症学会総会・学術大会 2018.06.14
37. 佐久間 朋美, 中久木 康一, 黒原 一人, 小杉 真智子, 友松 伸允. Le Fort I 型骨切り術後の骨癒合不全に対して再手術を要した 3 症例の検討. 第 28 回日本顎変形症学会総会・学術大会 2018.06.14
38. 小杉真智子, 中久木康一, 佐久間朋美, 友松伸允. 顔面非対称症例に対する Le Fort I 型骨切り術の骨固定材ごとの術後安定性の検討. 第 28 回日本顎変形症学会総会・学術大会 2018.06.15
39. 友松伸允, 中久木康一, 儀武啓幸, 園田 格, 黒原一人. 馬蹄形骨切り併用 Le Fort I 型骨切り術のための上顎骨の解剖学的検討. 第 28 回日本顎変形症学会総会・学術大会 2018.06.15
40. 土田 絵梨, 他. 舌癌の硬さと細胞密度との関係. 第 42 回日本頭頸部癌学会 2018.06.15
41. 友松伸允. 合併症 ~ 上顎骨癒合不全について ~. Matrix Consensus Meeting 2018 2018.06.16
42. 依田哲也. 咀嚼筋腱・腱膜過形成症の基礎と臨床. 口腔病学会講演会 2018.06.27 東京
43. 中久木康一. もしも被災したらどうなる? ~ 地域歯科保健の受援を含めた視点から ~. 平成 30 年度榛原歯科医師会災害歯科研修会 2018.07
44. 中久木康一. 災害時の歯科との連携. 第 12 回日本災害医療薬剤師学会研修 2018.07

45. 中久木康一. 災害時の歯科保健医療—多職種協働の中での歯科の役割—. 第 37 回日本歯科医学教育学会ランチョンセミナー 2018.07
46. 古株彰一郎 佐藤毅 依田哲也 鱒見進一. BMP-3b は骨格筋幹細胞サテライト細胞の分化を抑制する. 第 31 回日本顎関節学会総会・学術大会 2018.07.07
47. 湯本愛実 佐藤毅 遠藤真央 林直樹 川田由美子 依田哲也. 次世代シーケンシング解析による咀嚼筋腱・腱膜過形成症の側頭筋腱に特異的に発現する遺伝子群の同定. 第 31 回日本顎関節学会総会・学術大会 2018.07.07
48. 杉山健太郎 儀武啓幸 和気創 高原楠旻 佐藤文明 和気裕之 依田哲也. 顎関節における滑膜軟骨腫症の骨化と病期の関係. 第 31 回日本顎関節学会総会・学術大会 2018.07.07
49. 儀武啓幸. 顎関節の滑膜軟骨腫症、その診断と治療. 第 31 回 日本顎関節学会総会・学術大会シンポジウム 顎関節症の鑑別診断セミナー 2018.07.07 北九州
50. 儀武啓幸. 「下顎頭の前滑走を誘導する新型開口訓練器「ヤセック開口訓練器」を用いた開口訓練の実際. 第 31 回 日本顎関節学会総会・学術大会ランチョンセミナー 2018.07.07 北九州
51. 杉山健太郎, 儀武啓幸, 和気創, 佐藤文明, 和気裕之, 依田哲也. 滑膜軟骨腫症と滑膜骨軟骨腫症の比較検討. 第 31 回日本顎関節学会総会・学術大会、第 23 回日口腔顔面痛学会総会・学術大会、第 33 回歯科心身医学会総会・学術大会 2018.07.07
52. 兵頭克弥, 有坂慶紀, 山口 聡, 由井伸彦. 血管内皮細胞のネットワーク化を亢進するポリロタキサン表面の構築. 第 47 回医用高分子シンポジウム 2018.07.19
53. 中久木康一, 森田浩光. 九州地区における災害時歯科保健医療支援研修の取り組み. 第 37 回日本歯科医学教育学会 2018.07.28
54. 中久木康一. 災害時歯科保健医療体制に関する卒後研修の方向性. 第 37 回日本歯科医学教育学会 2018.07.28
55. 新垣理宣, 小川妙子, 新井朋美, 山口聡, 依田哲也. 当院における手術前歯科地域連携の取り組み. 第 2 回群馬口腔顎顔面疾患研究会 2018.08
56. 中久木康一. 災害時の歯科保健医療とその支援について, ミニシンポジウム「災害対策について ~DHEAT への歯科の係り~」. 第 36 回地域歯科保健研究会 2018.08
57. 中久木康一. 偶発症に対する緊急時の対応・医療事故等に対する安全対策, 歯科医療安全に関する研修会. 一般社団法人 気仙沼歯科医師会 2018.08
58. 中久木康一, 小山珠美, 前田圭介, 笠岡(坪山) 宣代, 植田耕一郎. 災害時の食べる支援における多職種連携のための共通アセスメント方法の提案. 日本災害食学会 2018 大会 第 6 回研究発表会 2018.08.19
59. 中久木康一. 災害支援活動の在り方と訓練, シンポジウム「熊本地震から“繋ぐ”被災者支援と身元確認のあり方」. 第 17 回警察歯科医会全国大会 2018.08.25
60. 中久木康一, 小玉剛, 工藤祐光, 村岡宜明, 柳川忠廣, 佐藤保. 歯科に関する災害時協定および災害医療コーディネーターの現状. 第 17 回警察歯科医会全国大会 2018.08.25
61. 中久木康一, 木村裕, 山田紫萌, 海津早苗, 鋤持郁, 尾形藍, 佐藤芳絵, 田守未来, 菅原愉子, 佐藤由理. 東日本大震災被災後の女川町における歯科保健対策の推進. 日本歯科衛生学会第 13 回学術大会 2018.09
62. Takahara N, Kimura A, Higuchi Y, Kabasawa Y, Yoda T. Evaluation of postoperative mandibular stability after bimaxillary surgery for mandibular prognathism depending on the amount of mandibular setback and the clockwise rotation of the proximal segment. 24th Congress of the European Association for Cranio Maxillo Facial Surgery 2018.09
63. 中久木康一. 災害時の歯科保健支援演習 DHUG. 日本歯科衛生学会ワークショップ, 日本歯科衛生学会第 13 回学術大会 2018.09
64. 中久木康一. 歯科保健医療体制の災害時における事業継続計画 (BCP). 東京都大田区大森歯科医師会 平成 30 年度 医療管理委員会講演会 2018.09
65. Hyodo K, Arisaka Y, Yamaguchi S, Yui N. Design of sulfonated polyrotaxane surfaces to activate vascular endothelial cells. 5th TERMIS World Congress 2018.09.05

66. 金 裕純, 小野 岳人, 中島 友紀. 炎症性骨破壊疾患における非受容体型チロシンキナーゼ阻害剤の効果の検討. 第 60 回 歯科基礎医学会 2018.09.05 日本 九州
67. 森田 圭一, 原田 浩之, 依田 哲也. Gorlin 症候群に付随する顎骨嚢胞の治療および PTCH1 遺伝子診断ストラテジー. 第 50 回日本臨床分子形態学会 2018 年 9 月 7-8 日 2018.09.07 東京
68. 中久木康一, 小山珠美, 前田圭介, 笠岡(坪山)宣代, 植田耕一郎. 災害時の食べる支援における多職種連携のための共通アセスメント方法の提案. 第 24 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会 2018.09.08
69. 吉住結, 中根綾子, 中久木康一, 豊島瑞枝, 雨宮輝美, 樺沢勇司, 戸原玄, 水口俊介. 口腔腫瘍患者への多職種による嚥下リハの取り組み. 日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会 2018.09.09 仙台
70. 依田哲也. 咀嚼筋腱・腱膜過形成症と顎変形症手術体制. 神奈川矯正スタディクラブセミナー 2018.09.11
71. Yoshitake H. Clinical application of the New Temporomandibular Joint (TMJ) Rehabilitation device.. 24th Congress of the European Association for Cranio Maxillo-Facial Surgery. 2018.09.18
72. 依田哲也. 口腔外科分野再編とドライマウスの話. お茶の水 SC クラブ学術講演会 2018.09.28 東京
73. 中久木 康一, 田守 未来. 東日本大震災後の支援をきっかけとした女川町における歯科保健の継続支援. 第 77 回日本公衆衛生学会総会 2018.10
74. 中久木康一. 家族でお口の健康を守ろう! 思春期の歯や口の特徴. 女川町歯科講演会 2018.10
75. 中久木康一. グループワーク「都道府県におけるコーディネート」に向けての検討会. 日本災害時公衆衛生歯科研究会 2018.10
76. 中久木康一. 災害時歯科支援における多職種連携. 平成 30 年度長崎県歯科医師会災害対策研修会 2018.10
77. 中久木康一. 平成 28 年熊本地震から平成 30 年 7 月豪雨に繋がったこと. 災害時公衆衛生歯科研究会 研修会 2018.10
78. 中久木康一. 命を守るお口のケア 災害関連死(誤嚥性肺炎)を防ぐために. 静岡災害歯科シンポジウム 2018.10
79. 森田 圭一, 丹下 正一朗, 井本 逸勢, 及川 悠, 栢森 高, 柴田 恵里, 外内 えり奈, 道 泰之, 池田 通, 原田 浩之, 依田 哲也. FFPE サンプルの RNA シークエンス解析による融合遺伝子検出の条件検討. 日本人類遺伝学会 第 63 回大会 2018 年 10 月 11-13 日 2018.10.11
80. 依田哲也. 口腔粘膜観察のポイント ~ 注意が必要な症状を学び、口腔がんを見つける! . 最新歯科トピック講演: 明日から役立つ口腔機能低下症診断 2018.10.14
81. 田守 未来, 中久木 康一. 東日本大震災をきっかけに変化した女川町の歯科保健活動. 第 77 回日本公衆衛生学会総会 2018.10.24
82. 依田哲也. 日本顎関節学会による 顎関節症の病態分類と診断基準. 神奈川歯科大学同窓会学術講演会 2018.10.28
83. 依田哲也. 歯科医院でできる顎関節症病態別治療法. 神奈川歯科大学同窓会学術講演会 2018.10.28
84. Shibata E, Morita K, Kayamori K, Maruiwa M, Michi Y, Sato Y, Takeuchi K, Ikeda T, Harada H, Yoda T. A case of mammary analogue secretory carcinoma in salivary duct of parotid gland. 13th Asian Congress on Oral and Maxillofacial Surgery (ACOMS) 2018.11
85. 新垣理宣. がん治療を口から支える. 中央医療歯科専門学校第 16 回学術講演会 2018.11
86. 中久木康一. 明日からできる! 歯科医院における災害対策 ~ 一歯科医師・地域医療機関として ~. 平成 30 年度長崎県歯科医師会災害対策研修会 2018.11
87. 中久木康一. 災害時における口腔ケア活動. 平成 30 年度専門研修「地域保健」 2018.11
88. 柴田恵里, 道 泰之, 三浦千佳, 倉沢泰浩, 外内えり奈, 原田浩之, 依田哲也. 80 歳以上の高齢者口腔扁平上皮癌症例の臨床的検討. 第 63 回日本口腔外科学会総会・学術大会 2018.11.02 幕張
89. 曾根絵梨・依田哲也. RANKL 結合ペプチドによる骨芽細胞分化促進機構の解明. 第 63 回日本口腔外科学会総会・学術大会 2018.11.02

90. 森田 圭一, 外内 えり奈, 友松 伸充, 高原 楠旻, 中久木 康一, 依田 哲也. 東京医科歯科大学における顎口腔変形疾患研究情報 DB 構築とバイオバンク事業との連携. 第 63 回 日本口腔外科学会総会・学術大会 2018 年 11 月 2-4 日 2018.11.02
91. 道 泰之. 口腔領域の希少がんへの対応 見逃さないために . 第 63 回 日本口腔外科学会総会・学術大会 2018.11.02 千葉
92. 柴田真理, 道 泰之, 三浦千佳, 炭野 淳, 土谷麻衣子, 行森 茜, 栢森 高, 山口 聰. TNM 分類の改訂に関する舌癌の臨床病理組織学的検討. 第 63 回 日本口腔外科学会総会・学術大会 2018.11.02 千葉
93. 川俣 綾, 三島木節, 香月佑子, 依田哲也. 両側唇顎口蓋裂を合併した 13 トリソミー患児に 対する早期治療導入の試み . 第 63 回日本口腔外科学会総会・学術大会 2018.11.03
94. 北村智久, 佐藤 毅, 林 直樹, 湯本愛実, 伊神英治, 塘田健人, 遠藤眞央, 磯崎祐太, 福島洋介, 依田哲也. 活性型ビタミン D 前駆物質は locomotive ability を向上させる . 第 63 回日本口腔外科学会総会・学術大会 2018.11.03
95. 儀武啓幸, 栢森 高, 和気 創, 杉山健太郎, 依田哲也. 未分化間葉系細胞に関する検討を行った Milgram1 期の顎関節滑膜軟骨腫症の 1 例 . 第 63 回日本口腔外科学会総会・学術大会 2018.11.03
96. 黒原一人, 友松伸充, 中久木康一, 新井直也, 依田哲也. Le Fort 型骨切り術における骨切り様式と術後安定性の検討. 第 63 回日本口腔外科学会総会・学術大会 2018.11.03
97. 高原楠旻, 木村 敦, 樋口佑輔, 樺沢勇司, 依田哲也. Le Fort I 型骨切りにおける骨片移動の精度について. 第 63 回日本口腔外科学会総会・学術大会 2018.11.03
98. Eri SHIBATA, Kei-ichi MORITA, Yasuyuki MICHII, Tetsuya YODA. A case of Mammary Analogue Secretory Carcinoma in Salivary Duct of Parotid Gland. 13th Asian Congress on oral and maxillofacial surgery 2018.11.08 台北
99. Katsuya Hyodo, Yoshinori Arisaka, Satoshi Yamaguchi, Tetsuya Yoda, Nobuhiko Yui. Induction of vascular network in vitro on polyrotaxane surfaces with vascular endothelial growth factors. 13th Asian Congress on Oral and Maxillofacial Surgery 2018.11.10
100. 兵頭克弥, 有坂慶紀, 山口 聰, 依田哲也, 由井伸彦. ポリロタキサン分子の可動性調節と成長因子導入による血管ネットワーク形成の促進. 第 40 回日本バイオマテリアル学会大会 2018.11.13
101. 押部成美, 丸川恵理子, 宇尾基弘, 依田哲也, 原田浩之. 異なる遠心分離条件・凝固系で作製した血漿とフィブリンの比較検討. 第 10 回多血血小板血漿 (PRP) 療法研究会 2018.11.18 ホテルマイステイズ新大阪コンファレンスセンター
102. 横溝一郎, 中久木康一, 依田哲也, 水野雅博, 工藤宏一郎. 全介助を要する患者の顎関節脱臼に有効と考えられる対応法の紹介とその 1 例. 第 18 回世田谷区医師会医学会 2018.12
103. 新垣理宣. 群馬県立がんセンターにおける歯科地域連携. 熊谷市歯科医師会定例会 2018.12
104. 中久木康一. 災害時の歯科保健支援演習 (DHUG). 平成 30 年度災害支援歯科衛生士フォーラム 2018.12
105. 中久木康一. 災害時の歯科保健支援に向けた準備. 平成 30 年度災害支援歯科衛生士フォーラム 2018.12
106. 長岡 亮介, 道 泰之, 和田 あかね, 池田 通, 原田 浩之, 依田 哲也 . 急激な増大傾向を示した顎下腺原発唾液腺導管癌の一例. 第 206 回 日本口腔外科学会 関東支部学術集会 2018.12.15 東京都

[特許]

1. 開口測定器, 特許番号: 特許第 6391119 号

[受賞]

1. 第 36 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会: 優秀ポスター賞: 舌癌の発生・進展過程における代謝調節機構の変化について: 中里桂一郎, 第 36 回 日本口腔腫瘍学会総会・学術大会, 2018 年 01 月
2. 第 42 回日本口蓋裂学会総会・学術集会 (優秀ポスター賞 (馬場優里、小川卓也、上園将慶、壬生美智子、三島木節、佐藤豊、森田圭一、森山啓司)), 日本口蓋裂学会, 2018 年 05 月

3. ベストティーチャー賞（博士課程）埼玉医科大学：依田哲也, 埼玉医科大学大学院 , 2018年06月
4. 第28回日本顎変形症学会：学会賞：馬蹄形骨切り併用 Le Fort I型骨切り術のための上顎骨の解剖学的検討：友松伸允, 日本顎変形症学会, 2018年06月
5. 第59回日本歯科医療管理学会 学会賞 第52巻優秀論文賞（災害拠点病院の歯科における災害時対応に関する調査研究）：中久木康一, 日本歯科医療管理学会, 2018年07月
6. 第40回日本バイオマテリアル学会 優秀研究ポスター賞（ポリロタキサンの分子可動性調節と成長因子導入による血管ネットワーク形成の促進）：兵頭克弥, 日本バイオマテリアル学会, 2018年11月

[その他業績]

1. 文部科学省科学研究費補助金 特別研究員奨励費, 2018年
「迅速に骨接合する歯科矯正用骨膜下アンカレッジデバイスの開発」研究代表者 上園将慶
2. 「難治性がんに腫瘍抑制効果を示すマイクロRNAを同定」マイクロRNAを用いた抗がん核酸薬による新規がん治療戦略への期待 , 2018年03月
Scientific Reports
3. 科学研究費補助金 基盤研究(C), 2018年04月
顎骨骨髓炎細菌叢の保有する病原因子の解明と新規治療戦略の提案(道 泰之)
4. IBS 茨城放送 JA さわやかモーニング やさしい医療「親知らずについて」 佐藤豊

[社会貢献活動]

1. 「顎関節症」について, 公益社団法人日本歯科医師会, 「日歯8020テレビ」, 2018年04月26日
2. NHK「4kでよみがえるミクロの世界」, 株式会社ヨネ・プロダクション, NHK「4kでよみがえるミクロの世界」, 2018年09月28日